(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2018-116717
(P2018-116717A)
(43)公開日　平成30年7月26日(2018.7.26)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
G06F 17/22	(2006.01)	G06F	17/22	623	5B109
		G06F	17/22	635	

審査請求 有　請求項の数 2　ＯＬ　（全 8 頁）

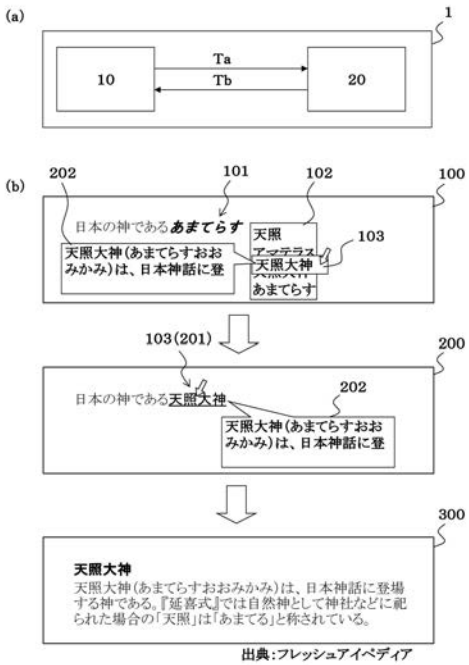
(21)出願番号　特願2018-31409(P2018-31409)
(22)出願日　平成30年2月26日(2018.2.26)
(62)分割の表示　特願2014-61012(P2014-61012)の分割
原出願日　平成25年12月25日(2013.12.25)

(71)出願人　396006309
曽根　利仁
埼玉県北足立郡伊奈町本町１－４８４　曽根家別墅　気付　※印鑑変更届や氏名（名称）変更届が出されたらそれは偽造書類である至急連絡を乞う。
(72)発明者　曽根　利仁
日本国埼玉県北足立郡伊奈町本町一丁目４８４番地

Ｆターム(参考)　5B109 MA05　MA11　NH02

(54)【発明の名称】入力支援方法

(57)【要約】
【課題】本発明の目的は、利用者がツールチップまたはハイパーリンクの内容を編集するインプットメソッド手段を提供することができる方法を提供することにある。
【解決手段】利用者が変換候補文字列を選んで確定した際に、利用者にツールチップまたはハイパーリンクの内容を編集させ、変換後文字列にツールチップまたはハイパーリンクを設定するインプットメソッド手段を提供することを特徴とする。
【選択図】図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
コンピュータを、
利用者が変換候補文字列を選んで確定した際に、前記利用者にツールチップまたはハイパーリンクの内容を編集させ、変換後文字列に前記ツールチップまたは前記ハイパーリンクを設定するインプットメソッド手段として機能させるための制御プログラム。
【請求項１】
コンピュータを、
利用者が変換候補文字列を選んで確定する迄の間に、変換後文字列に設定するツールチップまたはハイパーリンクを取得し表示するインプットメソッド手段として機能させるための制御プログラム。
【請求項２】
次の（１）または（２）の要件を備えることを特徴とする方法。
（１）利用者が変換候補文字列を選んで確定した際に、前記利用者にツールチップまたはハイパーリンクの内容を編集させ、変換後文字列に前記ツールチップまたは前記ハイパーリンクを設定するインプットメソッド手段を提供する。
（２）利用者が変換候補文字列を選んで確定する迄の間に、変換後文字列に設定するツールチップまたはハイパーリンクを取得し表示するインプットメソッド手段を提供する。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、入力支援方法に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、入力支援方法が知られる。例えば、特許第２９７４２９５号公報に記載の技術は、ＡＰ（Application Program）側から変換対象文字列を受取りそれに該当する変換文字列を取得し、該変換文字列をＡＰ（Application Program）側に返す日本語入力の技術が開示されている。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特許第２９７４２９５号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
ところで、上記従来の入力支援方法は、利用者がツールチップまたはハイパーリンクの内容を編集するインプットメソッド手段を提供することができないと言った問題があった。
また、変換後文字列に設定するツールチップまたはハイパーリンクを取得し表示するインプットメソッド手段を提供することができないと言った問題があった。
【０００５】
そこで、本発明の目的は、利用者がツールチップまたはハイパーリンクの内容を編集するインプットメソッド手段を提供することができる方法および制御プログラムを提供することにある。
また、変換後文字列に設定するツールチップまたはハイパーリンクを取得し表示するインプットメソッド手段を提供することができる方法および制御プログラムを提供することにある。
【課題を解決するための手段】
【０００６】
上記課題を解決するため本発明の方法は、利用者が変換候補文字列を選んで確定した際

に、前記利用者にツールチップまたはハイパーリンクの内容を編集させ、変換後文字列に前記ツールチップまたは前記ハイパーリンクを設定するインプットメソッド手段を提供することを特徴とする。

また、利用者が変換候補文字列を選んで確定する迄の間に、変換後文字列に設定するツールチップまたはハイパーリンクを取得し表示するインプットメソッド手段を提供することを特徴とする。

【発明の効果】

【０００７】

本発明によれば、方法および制御プログラムは、利用者がツールチップまたはハイパーリンクの内容を編集するインプットメソッド手段を提供することができる。

また、変換後文字列に設定するツールチップまたはハイパーリンクを取得し表示するインプットメソッド手段を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【０００８】

【図１】実施形態の入力支援方法の構成図の一例である。

【発明を実施するための形態】

【０００９】

以下、本発明の一実施の形態について詳細に説明する。

【００１０】

図１は実施形態の入力支援方法の構成図の一例である。例えば、入力支援方法は、（ａ）装置１のＣＰＵで実行されるアプリケーションプログラム（以下、ＡＰ１０と称す)およびインプットメソッドプログラム（以下、ＩＭプログラム２０と称す)を含む。ＩＭプログラム２０は、ＡＰ１０側で入力された変換対象文字列Ｔａを受取る過程と、変換対象文字列Ｔａに該当する変換文字列Ｔｂを取得する過程と、変換文字列ＴｂをＡＰ１０側に返す過程を含むことを特徴とする。

【００１１】

装置１はインターネットなどのネットワークシステムに接続されるとともに、ＣＰＵ、ＲＯＭ、ＲＡＭ、記憶部、入出力部、ネットワーク通信部などを有するコンピュータ部を備える。ＡＰ１０は、ワープロソフトウェア、ブラウザソフトウェアなどである。ＩＭプログラム２０は、Microsoft IME（登録商標）、ウェブページを表示する該ブラウザソフトウェアと連携する入力支援スクリプトなどの入力支援ソフトウェアである。また、ネットワーク上の配信サーバから配信されるものを含む。ＡＰ１０は、該ブラウザソフトウェアが表示させるウェブページのソースコードとしてもよい。変換文字列Ｔｂは、確定後画面２００に表示する文字列１０３を含み、ツールチップ２０２が設定されたハイパーリンク２０１が定義されているHTMLコードなどである。

【００１２】

装置１の入出力部のディスプレイに表示されたＡＰ１０の画面（ｂ）において、先ず、文章を入力中の入力時画面１００を表示させたＡＰ１０側は、利用者に装置１の入出力部のキーボードを用いて文字列１０１（変換対象文字列Ｔａ）を打ち込ませる。ＩＭプログラム２０は、ＡＰ１０側で入力された変換対象文字列Ｔａを受取り、辞書ファイルから変換対象文字列Ｔａに該当する変換文字列候補を取得し、変換文字列候補の一覧である変換候補リスト１０２を入力時画面１００に表示させ、利用者が装置１の入出力部のマウス操作により、任意に選んだ文字列１０３を選ぶと、文字列１０３に該当する変換文字列Ｔｂを辞書ファイルから取得し、ツールチップ２０２を入力時画面１００に表示させ、利用者がツールチップ２０２上をクリックした場合に、変換文字列ＴｂをＡＰ１０側に返す。変換文字列Ｔｂを受取ったＡＰ１０は、表示する文字列１０３を含み、ツールチップ２０２が設定されたハイパーリンク２０１を含む文章を掲載した確定後画面２００を表示する。これ以降、確定後画面２００では利用者のマウス操作により移動したポインタにより、文字列１０３がフォーカスされると、ツールチップ２０２が表示され、文字列１０３がクリックされると、ハイパーリンク２０１に該当するウェブページ３００がディスプレイに表

示されることとなる。

【００１３】

上記実施形態において、ＡＰ１０側の記載は、ＡＰ１０とオペレーティングシステムとの連携を含む。ＩＭプログラム２０は、辞書ファイル登録手段を備え、辞書ファイル登録手段は任意の変換文字列Ｔｂの登録・変更・削除を辞書ファイルに対して行なう構成としてもよい。辞書ファイルは装置１の記憶部に記憶されているが、インターネットなどのネットワーク上に配置してもよい。変換候補リスト１０２は、任意の文字列１０３を選択すると、ツールチップ２０２が表示され、ツールチップ２０２上をダブルクリックすると、ツールチップ２０２が入力領域となって、変換文字列Ｔｂに設定されるツールチップ２０２の表示文章を変更することができる構成としてもよい。また、任意の文字列１０３を選択すると、入力領域を構成するツールチップ２０２が表示され、変換文字列Ｔｂに設定されるツールチップ２０２の表示文章を入力することができる構成としてもよい。また、ツールチップ２０２の表示文章にハイパーリンク２０１のＵＲＬを含め、それを変更すると変換文字列Ｔｂのハイパーリンク２０１を変更することができる構成としてもよい。また、ツールチップ２０２の表示文章が入力または変更された場合に、それを辞書ファイルに反映させる構成としてもよい。

【００１４】

以上の説明においては、通信制御プログラムを含む各種制御プログラムが、予めＲＯＭに格納されている場合について説明したが、制御プログラムを、コンピュータ部で読取可能な記憶媒体に記録するようにしてもよい。このような構成であれば、コンピュータ部によってプログラムが記憶媒体から読み取られ、読み取られたプログラムに従ってコンピュータ部が処理を実行すると、上記実施形態の装置と同等の作用および効果が得られる。

【００１５】

ここで、記憶媒体とは、ＲＡＭ、ＲＯＭ等の半導体記憶媒体、ＦＤ、ＨＤＤ等の磁気記憶型記憶媒体、ＣＤ、ＤＶＤ、ＢＤ等の光学的読取方式記憶媒体、ＭＯ等の磁気記憶型／光学的読取方式記憶媒体であって、電子的、磁気的、光学的等の読み取り方法のいかんにかかわらず、コンピュータ部で読み取り可能な記憶媒体であれば、どのような記憶媒体であってもよい。

【００１６】

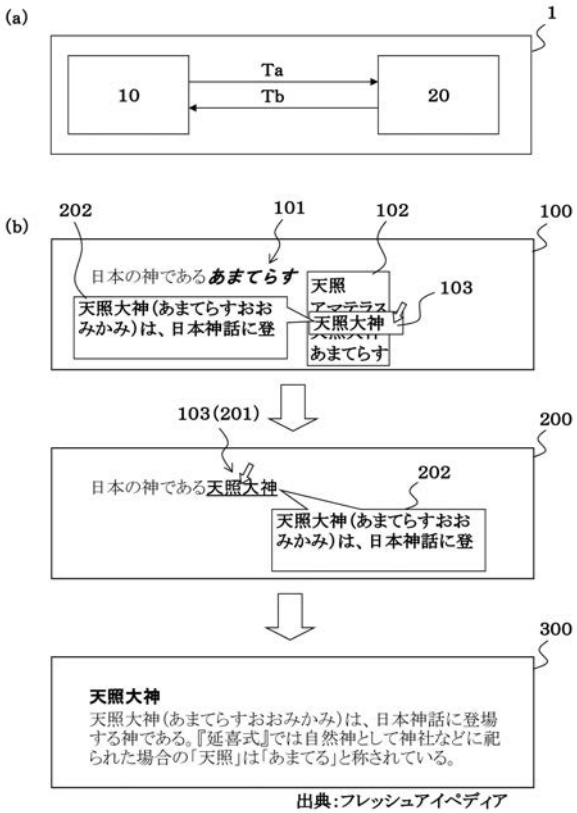
また、インターネット、ＬＡＮ等のネットワークシステムを介して制御プログラムをダウンロードし、インストールして実行するように構成することも可能である。

【符号の説明】

【００１７】

１…装置，１０…ＡＰ，２０…ＩＭプログラム，Ｔａ…変換対象文字列，Ｔｂ…変換文字列，Ｄ…辞書ファイル，１００…入力時画面，２００…確定後画面，３００…ウェブページ，１０１…文字列，１０２…変換候補リスト，１０３…文字列，２０１…ハイパーリンク，２０２…ツールチップ

【図１】



【手続補正書】
【提出日】平成30年5月22日(2018.5.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
変換前文字列を、辞書の登録情報を枠内で提示するツールチップを埋め込んだ変換後文字列に変換するインプットメソッド手段を提供することを特徴とする方法。
【請求項２】
コンピュータを、
変換前文字列を、辞書の登録情報を枠内で提示するツールチップを埋め込んだ変換後文字列に変換するインプットメソッド手段として機能させるための制御プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記課題を解決するため本発明の方法は、変換前文字列を、辞書の登録情報を枠内で提示するツールチップを埋め込んだ変換後文字列に変換するインプットメソッド手段を提供することを特徴とする。
【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
ところで、上記従来の入力支援方法は、辞書の登録情報を、ツールチップの枠内で提示することができないと言った問題があった。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
そこで、本発明の目的は、辞書の登録情報を、ツールチップの枠内で提示することができる方法および制御プログラムを提供することにある。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明によれば、方法および制御プログラムは、辞書の登録情報を、ツールチップの枠内で提示することができる。
【手続補正書】
【提出日】平成30年5月25日(2018.5.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
ところで、上記従来の入力支援方法は、辞書の登録情報を、ツールチップで提示することができないと言った問題があった。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
そこで、本発明の目的は、辞書の登録情報を、ツールチップで提示することができる方法および制御プログラムを提供することにある。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明によれば、方法および制御プログラムは、辞書の登録情報を、ツールチップで提示することができる。
【手続補正書】

【提出日】平成30年5月30日(2018.5.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
変換前文字列を、枠を利用し辞書の登録情報を前記枠内で提示する枠利用ツールチップを埋め込んだ変換後文字列に変換するインプットメソッド手段を提供することを特徴とする方法。
【請求項２】
コンピュータを、
変換前文字列を、枠を利用し辞書の登録情報を前記枠内で提示する枠利用ツールチップを埋め込んだ変換後文字列に変換するインプットメソッド手段として機能させるための制御プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記課題を解決するために本発明の方法は、変換前文字列を、枠を利用し辞書の登録情報を前記枠内で提示する枠利用ツールチップを埋め込んだ変換後文字列に変換するインプットメソッド手段を提供することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
ところで、上記従来の入力支援方法は、辞書の登録情報を、枠を利用する枠利用ツールチップで提示することができないと言った問題があった。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
そこで、本発明の目的は、辞書の登録情報を、枠を利用する枠利用ツールチップで提示することができる方法および制御プログラムを提供することにある。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明によれば、方法および制御プログラムは、辞書の登録情報を、枠を利用する枠利用ツールチップで提示することができる。
【手続補正書】

【提出日】平成30年6月20日(2018.6.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
変換前文字列を、辞書の登録情報を枠内で提示する前記枠を利用の枠利用ツールチップを埋め込んだ変換後文字列に変換するインプットメソッド手段を提供することを特徴とする方法。
【請求項２】
コンピュータを、
変換前文字列を、辞書の登録情報を枠内で提示する前記枠を利用の枠利用ツールチップを埋め込んだ変換後文字列に変換するインプットメソッド手段として機能させるための制御プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記課題を解決するために本発明の方法は、変換前文字列を、辞書の登録情報を枠内で提示する前記枠を利用の枠利用ツールチップを埋め込んだ変換後文字列に変換するインプットメソッド手段を提供することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
ところで、上記従来の入力支援方法は、辞書の登録情報を、枠を利用の枠利用ツールチップの枠内で提示することができないと言った問題があった。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
そこで、本発明の目的は、辞書の登録情報を、枠を利用の枠利用ツールチップの枠内で提示することができる方法および制御プログラムを提供することにある。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明によれば、方法および制御プログラムは、辞書の登録情報を、枠を利用の枠利用ツールチップの枠内で提示することができる。